



うまれかわりの文化祭

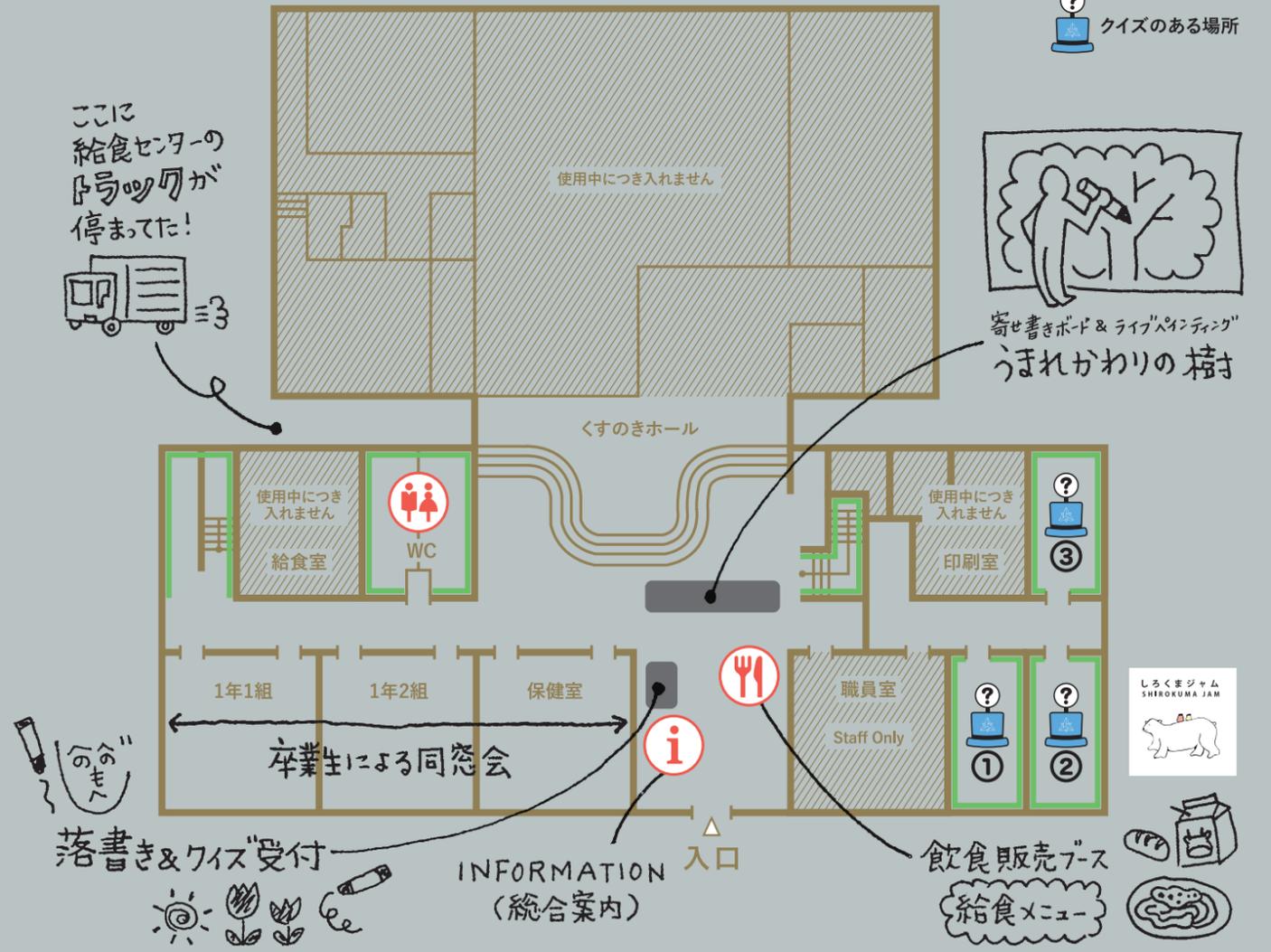
校内マップ

青葉小学校舎でのラストデイを存分に楽しんでいただくため、イベントのインフォメーションはもちろん、みんなの思い出も一緒に書き込んだマップを作りました。黒板や水飲み場、吹き抜けや丸窓。ほぼ当時のまま残っている校舎を、卒業生は懐かしく、初めて入る人は探検気分歩いてみてください。

正面玄関は、インフォメーションブースをはじめ、懐かしの給食メニューや寄せ書きボード「うまれかわりの樹」を楽しめる賑やかなエリア。かつては下駄箱があった入口を土足で上がる罪悪感も、今日という日の思い出に！青葉小のシンボルである樹木の名前がついた「くすのきホール」は、たくさんの思い出がつまった広場です。保健室や1年生の教室では、卒業生による同窓会も開催中。

校内マップ 1 Floor

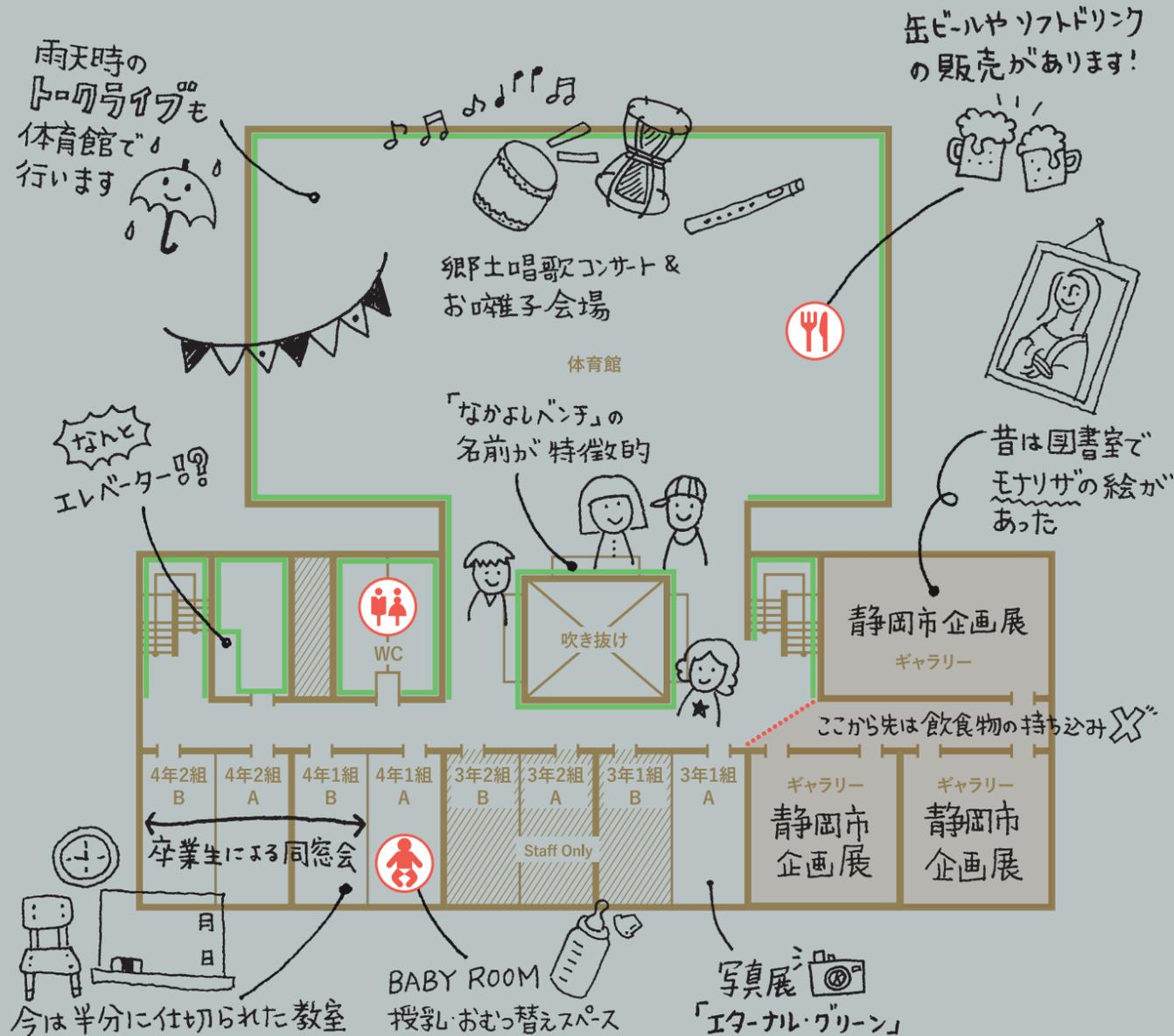
- 落書きでぎちゃう壁
- クイズのある場所



校舎の2階に体育館があるのも画期的。今日はコンサートの会場となります。静岡市企画展、女優・伊澤恵美子さんによる写真展など、見応えのあるプログラムも。お子連れの皆さんは、授乳・おむつ替えスペースもご利用ください。吹き抜けの周りには青葉小名物「なかよしベンチ」です。

校内マップ

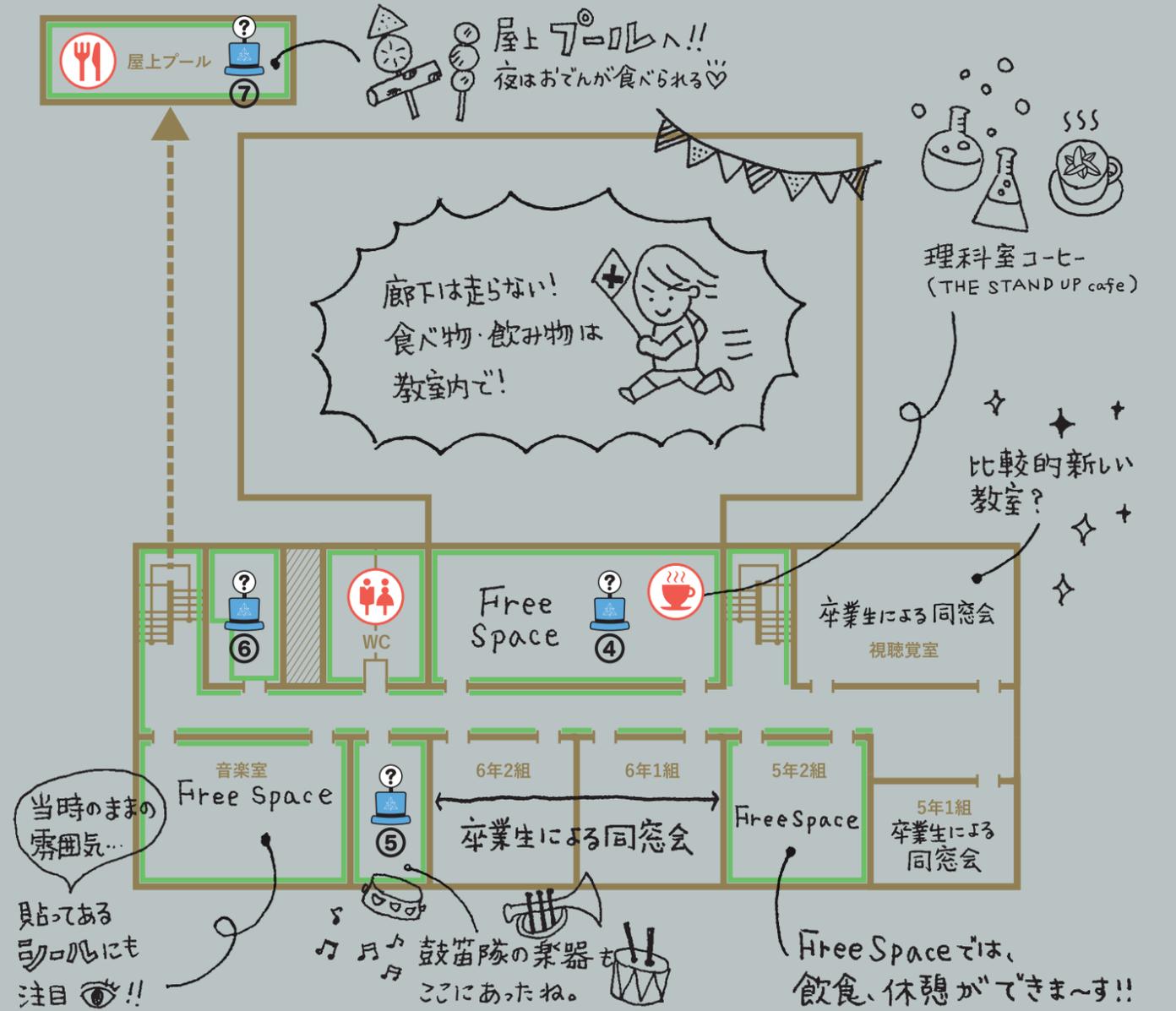
2 Floor



教室クイズ・理科室コーヒー(今日限りの校章ラテアートは必見!)
など盛りだくさんな3階。フリースペースでは飲食や雑談をご自由
にお楽しみください。そして屋上のプールへ...!

校内マップ

3 Floor
Rooftop



追手町416 History

1632年頃

城代屋敷

徳川家康公亡き後、3代将軍家光の時代に駿府城は幕府直轄となり、上級旗本が駿府城代に任命された。その城代屋敷は現在の旧青葉小学校の校地を含む広大な敷地を有し、幕末には「江戸城無血開城」につながる緊迫した政治情勢の舞台となるなど、重要な歴史の一部となった。当時からシンボルのともいべき樟の木が存在していた。

江戸時代

1913年頃

大正2年

静岡城内東小学校 静岡城内西小学校

青葉小学校の前身となった両校は、大正2年、市内小学校の名称変更により誕生。文武ともに盛んな名門校だったが、昭和20年の静岡大空襲により校舎や樟の大木が焼失。同年廃校となる。



城内東小学校の正面玄関



城内東小学校の樟(くすのき)

大正14年

1925年

静岡県立葵文庫

徳川家の記念事業として設立。前身は、大政奉還後に駿府に移った徳川家が人材育成や教育改革のために設立した静岡学問所で、江戸時代の昌平坂学問所などから蔵書の一部が移された。現在の静岡県立中央図書館である。建物は市役所本館と同じく中村與資平の設計だった。

1945年頃

進駐軍

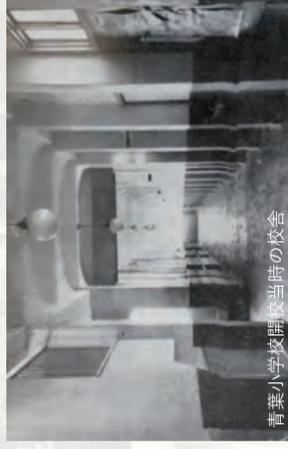
当地が米軍に接収された。終戦後「日本人入るべからず」の立て札が立てられたこともあった。

昭和20年

1954年

静岡市立青葉小学校

サンフランシスコ平和条約締結後、米軍から市へかつての校地が返還された。その後地域からの請願と一部資金の貸与により、昭和29年4月1日に開校。かつて樟の大木があった近くには新たな樟の苗が植えられ、青葉の茂る中、最盛期には20クラス約1,000名の生徒が在籍。平成19年、城内小学校との学校統合により53年の歴史に幕を下ろした。



青葉小学校開校当時の校舎

昭和29年

1984年

昭和59年



青葉小学校30周年に建てられた新校舎

2008年

平成20年

静岡市クリエイター支援センター CCC
静岡のクリエイターを支援・育成する施設として、平成20年に開設。閉校した青葉小学校の校舎を再利用し、アトリエスペースやプロ仕様の機材などを備え、多くのクリエイターを輩出した。

2018年

平成30年

今日

静岡市の施設としての役割が終わり、平成30年6月末に閉鎖される。今後は旧校舎の解体が行われ、駿府城三ノ丸遺構の発掘調査が実施される予定。

未来 2021年

静岡市歴史文化施設

歴史文化から静岡の未来をつくる。～静岡の過去を学び、今を知る。そして、未来を考える。～を基本理念に、静岡市の豊かな歴史と文化を活かし、「世界に輝く静岡」を実現するための拠点を目指す。静岡市ならではの歴史文化遺産の価値と魅力を発信し、地域に賑わいと豊かさを創出することで、静岡市の発展を牽引していく。2021年度開館予定。

静岡市立青葉小学校 沿革

昭和29年	4月1日	静岡市立青葉小学校として、この地に創立
	8月11日	校舎第2期工事竣工(職員室、放送室、音楽室等)
昭和33年	6月12日	校舎第3期工事竣工(鉄筋3階建3教室増築)
昭和34年	10月2日	開校5周年記念式典
昭和39年	2月7日	体育館兼講堂落成式
	10月2日	開校10周年記念大運動会
昭和44年	10月2日	開校15周年記念式典
昭和47年	1月22日	学校保健文部大臣賞受賞記念式 高見文部大臣臨席
昭和49年	10月2日	開校20周年記念式典
昭和52年	6月23日	昭和50、51年度文部省道徳教育研究指定研究発表会
昭和53年	11月10日	創立25周年記念事業(体育館の幕、照明他整備)
昭和59年	10月20日	創立30周年記念行事(学芸会、記念式典、祝賀会、バザー)
昭和60年	12月3日	新校舎で授業開始★
平成元年	1月31日	ネブラスカ州オマハ市フローレンス小学校と姉妹校締結
	10月2日	創立35周年記念式典
平成5年	1月30日	宇宙飛行士 毛利衛さん〈宇宙授業〉を行う
平成6年	10月1日	創立40周年記念式典・公演(東京混声合唱団)
平成11年	10月2日	創立45周年記念式典
平成17年	1月25日	創立50周年記念式典(静岡音楽館AOI)
平成18年	4月6日	最後の入学式・始業式
	9月24日	第52回大運動会
	10月5日	高円宮妃殿下御来校 授業参観・子ども木遣り披露
	10月20日	校歌を歌おう ～青葉の心を響かせる会～
平成19年	2月24日	青葉メモリアル展・校址碑除幕式
	3月19日	第52回卒業証書授与式
	3月21日	静岡市立青葉小学校閉校記念式典・閉校記念パーティー

青葉小学校卒業生 合計4,851名

静岡市立青葉小学校 校歌

作詞：勝承夫
作曲：平岡照章

一、
城の名残りの 松風も
晴れて希望の 朝を呼ぶ
富士もほほえむ 青葉が丘に
巣立つ小鳥は 元気な小鳥
あすの日本に 飛び立つわれら

二、
仰ぐ心も 清らかに
映えて楽しい 青葉校
三つ葉組み合う 若橘は
栄えの校章 みんなの誓い
いつもなかよく 進もうわれら

三、
のびよ樟の木 逞しく
光わきたつ 自治の庭
夢もゆたかな 青葉の窓に
歌う小鳥は 平和の小鳥
あすの世界に 飛び立つわれら

木遣り歌 ありがとう青葉

作詞：松井誠司

城のなごりの 青葉の庭に
今日も元気な 子等の声
いっしょに仲良く すごした日々を
土手の桜は知っている

城内東の 心を受けて
うぶごえあげて はや五十路
誇る歴史は 陽に照らされて
永久の輝き いやつよく

富士もほほえむ 青葉が丘に
映えて楽しい 我が母校
時の流れに 身を寄せつつも
一縷の思いが 駆けめぐる

のびよ樟の木 よりたくましく
胸に秘めたる 大きな夢を
粹でいなせな 青葉の街に
今日も紡みて 明日を織る

長き歩みを こころで結び
新たなる歩に 祝い唄

【木遣り】

府中青葉木遣会

フチュウアオバキヤリカイ



「おまち」の小さな団体です。老若男女、職人さんからお医者さんとバラエティに富んだ会員構成です。節度を持って楽しく仲良くお祭りに参加することをモットーに活動しています。

歴史文化施設について



2021年開館予定

旧青葉小学校舎が解体されたら何に生まれかわるの？

静岡市の歴史を紹介し、「ひと」を育て「まち」を活性化する、誰もが立ち寄れる施設に生まれかわります！

■ 施設のビジョン

「歴史文化のまちづくり」の実現

静岡の過去を学び、今を知り、そして未来を考える拠点となります。

■ 3つの役割

博物館

徳川家康や今川氏、東海道の交通と交流を核とした歴史資料を展示し、歴史探求ができるエリアになります。

「学び」の場

市民が自発的に「発見や学び」を「発信」する生涯学習の場を提供します。図書スペースもあるので気軽に立ち寄れます。

歴史観光

多くの人々が交流する機会を生み出し、市内歴史観光の回遊拠点となります。

建物も魅力的

多くの人々が交わる施設のデザインを生み出してきた(有)SANAA事務所が建物を設計します。過去には金沢21世紀美術館などを手がけています。

その他、ミュージアムショップやカフェなどがあります。学ぶ、憩う、買う、体験することができる新たな施設。

オープンは3年後の2021年。

どうぞお楽しみに。

「静岡発 近代日本のはじまり」

(仮)静岡市歴史文化施設 プレ展示

(仮)静岡市歴史文化施設
プレ展示

6月9日(土)～

6月24日(日)

金曜日は夜7時まで

観覧無料 | 会期中無休

会場 = 旧青葉小学校 2階

徳川家達



静岡発
近代日本の
はじまり

徳川慶喜



明治維新150年にあたる今年、本展示では近代の静岡にスポットをあてています。近代日本は世の中が大きく変わる時代です。大政奉還から戊辰戦争と激動するなかで、江戸城無血開城がありますが、これが成された背景には、ここ駿府で行われた山岡鉄舟と西郷隆盛の会談がありました。そして、戊辰戦争に敗れた徳川慶喜は駿府で謹慎生活を送り、多くの旧幕臣たちも駿府に移住しました。これが近代の静岡に大きな変化をもたらします。その1つが新たな教育機関「静岡学問所」の設立です。ここは希望すれば誰でもが国学や漢学、洋学を学べる場所でした。また東海道は近代になり橋梁工事や道路整備がなされました。これにより現れた変化もあります。特に興津は井上馨や西園寺公望といった明治の元老の別荘が建てられたことで、多くの知識人が集っていました。また、第二次世界大戦後の混乱期には、徳川慶喜の孫慶光も一時身を寄せていました。近代の静岡は全国でも類まれな歴史を歩んでいます。展示会場である旧青葉小学校は静岡学問所跡と隣接し、学問所に伴って設けられた葵文庫の跡地にあたります。この展示を通じて“近代の静岡は面白い”と感じてもらいたと思います。

会期 平成30年6月9日(土)から6月24日(日)まで

開催期間 10:00～17:00 (入場は16:30まで)
6月15日(金)・22日(金)は19:00まで (入場は18:30まで)

会場 旧青葉小学校2階(静岡市葵区追手町4-16)

観覧無料

会期中無休

学芸員による
ギャラリートーク

[いずれも15分程度]

6月10日(日)11:00～
15日(金)18:30～
22日(金)18:30～
24日(日)11:00～
14:00～

当日直接会場へお越しください

申込
不要



【会場装飾】 日本平夜市

日本平の"夜のイメージを一新"するために2016年9月から毎月第4土曜日に日本平の山頂で夜型マルシェ『日本平夜市』を開催する任意団体。子どもからお年寄りまで誰もが気軽に足を運んで、音楽演奏や美味しい食べ物・素敵な雑貨等を楽しめるワクワク・ドキドキの空間を演出する。

<http://nihondaira-yoichi.com/>

【映像制作・写真撮影】 BOO 前田比都美

【校内放送】 秋枝伶子

【会場装飾】 チームガーランド

チームガーランドは、一辺23cmの"三角"でイベントを彩ります。チームガーランドは、小学生から70歳のメンバーによる"参画"で笑顔を彩ります。

チームガーランドは、"サンカク"で"まち"を彩ります。

<http://wgug0819.wixsite.com/team-garland>

青葉学区の皆さま	823design 利根川初美
大澤明梨	ビーナッツカンパニー
シズオカ文化クラブ	藤田美知瑠
柴田千枝美	赤白帽iz (ボランティアスタッフ)
STUDIO-K!	今日のイベントを応援して くださった全ての皆様
名倉佐記	



グリーンドリンクス静岡 × 青葉小学校舎メモリアルイベント

うまれかわりの文化祭

日時：2018年6月17日(日) 13:00-20:00

場所：旧静岡市立青葉小学校(静岡市葵区追手町4-16)

主催：青葉小学校同窓会・卒業生有志

シズオカオーケストラ(伊藤允彦・菅沼新太・野村さわ子・牧野美和・井上泉)

共催：静岡市

うまれかわりの文化祭 公式パンフレット

2018年6月17日 発行

編集：シズオカオーケストラ

発行：静岡市

印刷・製本：池田屋印刷株式会社